



# Sustainable Fashion

サステナブルファッション

これからのファッションを持続可能に。

私たちの取組みが求められています。



サステナブルファッションのすすめ

私たちにもできるエシカルライフ



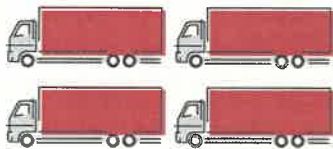
これからのファッションを持続可能に。  
私たちの取組みが求められています。

# Fashion & Environment

## ファッションと環境の現状①

ファッション産業では、原材料の調達、生地・衣服の製造、そして輸送から廃棄に至るまで、それぞれの段階で環境に影響を与えています。衣服は色々な素材が混合されてできており、また海外における生産段階は、数多くの工場や企業によって分業されているため、環境負荷の実態や全容の把握が困難な状態となっています。

平均すると1日あたり  
大型トラック約130台分の服が  
焼却・埋立処分されています。



日本の家庭から焼却・埋め立てされる服は  
年間約48万トン。  
廃棄量の削減が課題です。

1年間1回も  
着られてない服が  
一人あたり25枚もあります。



循環型ファッションの推進には  
家庭にしま込まれている  
服の活用が課題です。

1990年と比較し  
衣服の購入量は横ばいですが、  
供給量は約1.7倍に増えています。



大量生産から適量生産への  
転換が課題です。

日本で売られている衣服の98%が  
海外からの輸入です。



日本のファッション産業によるCO2排出量は、  
原材料調達および製造段階で90%を占めており、  
ファッション産業を持続可能にする為には  
海外での環境負荷の実態把握とその削減が重要です。



これからのファッションを持続可能に。  
私たちの取組みが求められています。

# Fashion & Environment

## ファッションと環境の現状②

現在、ファッションの短サイクル化や低価格化により多くの服を生み出し、消費されることにつながっています。私たちが手放した服のうち再利用・再資源化される割合はごくわずかです。毎日廃棄される大量の衣服を処理するためにも、環境負荷が生じており、現状を変えてゆく必要があります。

家庭から手放される衣服の量は  
年間約75万トン、うち約50万トンが  
ごみとして出されています。



ごみに出された衣服が  
再資源化される割合はたった5%ほど。  
服を資源として再活用することが求められています。

私たちは1年間に  
約3着をリペア(修繕)し  
約12着の服を手放しています。



もしリペアする服を5倍に増やせたら  
家庭から廃棄される衣服は  
ゼロになるかもしれません。

手放された服の約20%しか  
フリマアプリや回収などを通じ  
古着としてリユースされていません。



もし私たちが1年間1回も着ていない服を  
すべてリユースに回し再流通させると  
その量は約10倍になります。

私たちの4人に1人は「安く買い、  
流行のシーズンが終わったら処分する  
サイクルを見直したい」と感じています。



もし衣服の供給量を25%減らすことができれば  
約20万トン分の服を作らずに済みます。  
これは東京タワー約50棟分の重さに相当します。



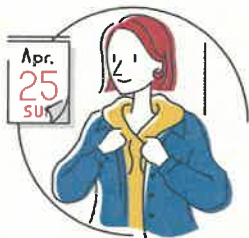
これからのファッションを持続可能に。  
私たちの取組みが求められています。

# Action

## ファッションと環境へのアクション

ファッションと環境の現状に対して、生活者と企業が一緒に取り組める対策が数多くあり、既に一部は実践されています。ここでご紹介する”明日から私たちが取り組めるアクション”を通じて、みんなでファッションと環境の未来をより良いものに変えていきましょう。

### 一着を長く着て サステナブルファッション



今ある服を今年捨てずにもう1年長く着れば、  
日本全体で約4万tの廃棄削減につながります。

### 古着やシェア・レンタルを活用して サステナブルファッション



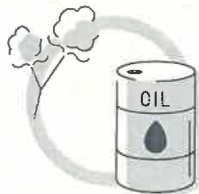
みんなで着まわすことにより  
一着が着用される機会・期間が増加します。

### 買わないことも サステナブルファッション



2019年に約35億着の衣服が  
供給されました。  
買わないだけでも  
大量生産を見直す  
アクションとなります。

### 服の作られ方に目を向けて サステナブルファッション



CO2排出量の45%以上が  
原材料調達によるもの。  
オーガニックコットンや再生原料など  
サステナブルな素材を選択することで  
環境負荷を削減できます。

### 服を回収に出して サステナブルファッション



多くの自治体が  
古着を資源として回収しています。  
あなたの自治体のホームページで  
「古着 回収」と調べてみましょう。